

LM・米国・ ラージ・キャップ・ グロース・ファンド 愛称：アメリカンパワー

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	主として魅力的な成長が見込めると判断する大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 なお、株式等に直接投資する場合があります。
	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	主として米国に所在する企業の発行する株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎年7月22日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

運用報告書（全体版）

第14期 決算日 2020年7月22日

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ファンド」は、2020年7月22日に第14期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		株組 入比率	株先 物比率	投資信託 組入比率	純資 産額
		税込 分	み騰 金落 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
10期(2016年7月22日)	19,779	0	△12.0	93.9	—	—	251
11期(2017年7月24日)	24,051	0	21.6	97.4	—	—	255
12期(2018年7月23日)	29,076	0	20.9	93.9	—	1.5	157
13期(2019年7月22日)	30,545	0	5.1	93.8	—	1.9	270
14期(2020年7月22日)	35,816	0	17.3	96.3	—	2.0	206

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		株組 入比率	株先 物比率	投資信託 組入比率
		騰落 率	騰落 率			
(期首)	円	%	%	%	%	%
2019年7月22日	30,545	—	93.8	—	1.9	1.9
7月末	31,084	1.8	93.7	—	1.9	1.9
8月末	29,351	△3.9	93.0	—	1.8	1.8
9月末	29,572	△3.2	92.2	—	1.9	1.9
10月末	30,641	0.3	94.5	—	1.7	1.7
11月末	32,075	5.0	96.1	—	1.6	1.6
12月末	32,902	7.7	91.5	—	1.8	1.8
2020年1月末	33,275	8.9	94.9	—	1.7	1.7
2月末	30,691	0.5	93.8	—	1.9	1.9
3月末	28,089	△8.0	93.9	—	2.1	2.1
4月末	30,904	1.2	92.2	—	1.9	1.9
5月末	32,768	7.3	92.3	—	2.0	2.0
6月末	33,529	9.8	94.7	—	2.0	2.0
(期末)						
2020年7月22日	35,816	17.3	96.3	—	2.0	2.0

(注) 騰落率は期首比です。

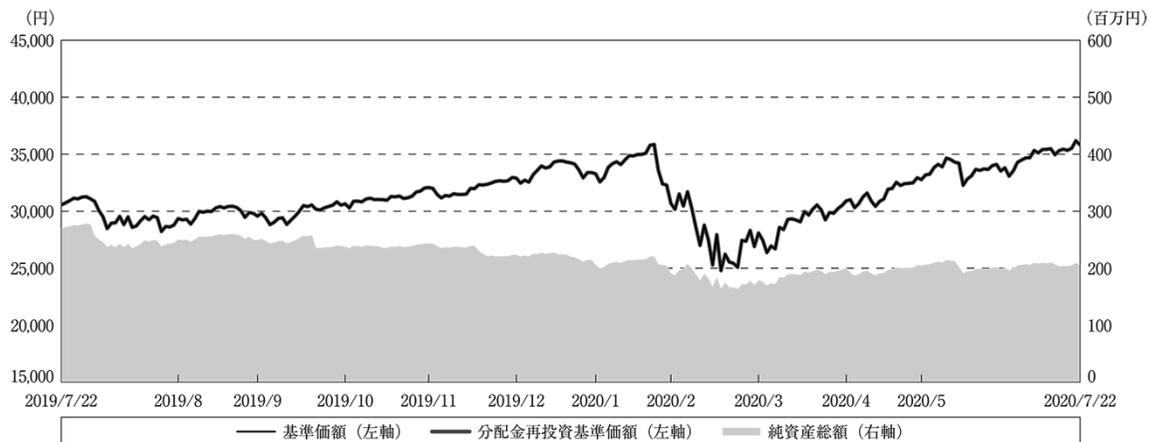
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年7月23日～2020年7月22日)



期首：30,545円

期末：35,816円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：17.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2019年7月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラスとなりました。

米国株式相場の上昇を背景に株式要因が大きくプラスに寄与しました。為替要因については、米ドル安・円高を受けてマイナスとなりました。

① 米国株式市場の動向

当期の米国株式相場は、上昇しました。

期の前半は、米中貿易摩擦の激化懸念が強まったことや、米国景気の先行き不安が広がったことなどから、上値の重い展開となる場面が見られました。その後、米中の貿易協議が進展するとの期待が広がり、投資家のリスク回避姿勢が和らぐと、株価は上昇しました。

期の半ばは、米中の貿易協議に対する進展期待を背景に、株価は堅調となりました。さらに、米中両国が貿易協議の「第1段階」で合意したことを受けて、株価は上値を伸ばす展開となりました。しかしその後は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し、経済活動の停滞が懸念されたことなどから、株価は急落しました。

期の後半は、米連邦準備制度理事会（FRB）が緊急利下げを決定したことやトランプ米政権が経済対策を発表したことなどを受けて、過度なリスク回避の動きが収まったことから、株価は反発しました。その後も主要国での経済活動再開やワクチン開発への期待感などを背景に、株価は回復基調となりました。

米国S&P500指数の推移



② 為替市場の動向

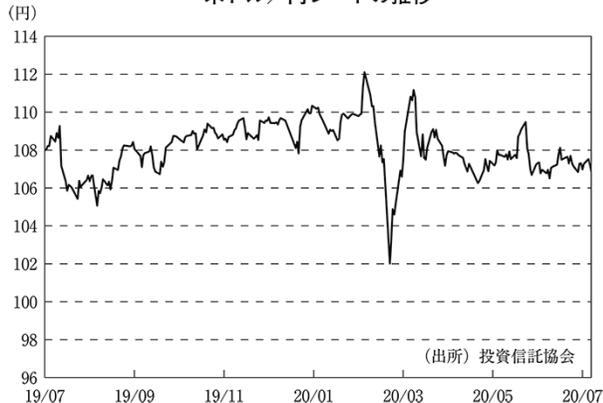
当期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。

期の前半は、FRBが利下げを決定したことや、米国国債市場で「逆イールド」が発生し、米国景気の不透明感が強まったことなどから、米ドル売り・円買いが強まりました。しかしその後は、米中の貿易協議に対する期待が高まったことや、米国景気減速への過度の警戒感が後退したことなどから、米ドルは反発しました。

期の半ばは、米中の貿易協議に対する進展期待が高まり、リスク回避姿勢が和らいだことなどから、米ドル買い・円売りが優勢となりました。その後も、米国の主要な株価指数が最高値を更新する中、米国経済の相対的な強さが意識されたことなどから、米ドルは対円で上昇基調となりました。しかし、新型コロナウイルスの急速な感染拡大を受けて株式相場が世界的に急落し、リスク回避姿勢が強まること、米ドル売り・円買いが強まりました。

期の後半は、金融市場の混乱が増す中、基軸通貨である米ドルを確保する動きが見られ、米ドルは対円で上昇しましたが、米国景気や雇用の悪化が想定以上になるとの見方が広がると下落に転じるなど、乱高下する展開となりました。その後は、方向感の定まらない展開となりました。経済活動の再開で米国景気が回復に向かっているとの見方が広がったことは、米ドル買い・円売り要因となりました。一方、FRBによる金融緩和の長期化が意識されたことは、米ドル売り・円買い要因となりました。

米ドル／円レートの推移



当ファンドは、主に「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、個別企業の徹底したファンダメンタル分析に基づき、魅力的な成長が見込める米国の大型成長株を中心に銘柄数を絞り込んで投資することにより、元本の長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期の運用においては、大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、経営能力が高く、長期にわたり競争力上の優位を維持できると期待される成長企業を発掘することにより、ポートフォリオの構築を行いました。

分配金

(2019年7月23日～2020年7月22日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第14期
	2019年7月23日～ 2020年7月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	25,815

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、米国企業の大型成長株を中心に投資を行うファンドです。今後も、市場環境を注視しながら、投資魅力度の高い銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年7月23日～2020年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 567	% 1.815	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(292)	(0.935)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(258)	(0.825)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(17)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.012	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(4)	(0.012)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.002	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.002)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	275	0.879	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(258)	(0.826)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(5)	(0.015)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(11)	(0.035)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.003)	権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	847	2.708	
期中の平均基準価額は、31,240円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

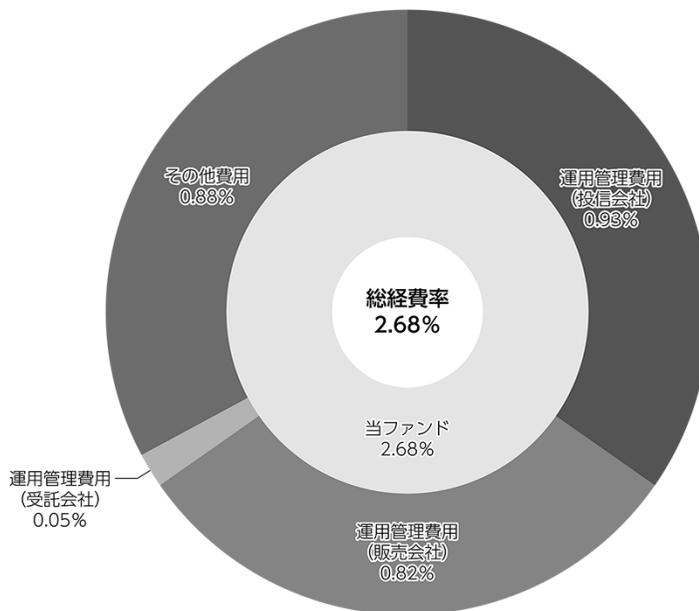
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.68%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年7月23日～2020年7月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	千口 19,483	千円 76,337	千口 44,870	千円 178,556

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2019年7月23日～2020年7月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額		252,703千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額		207,515千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		1.22

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年7月23日～2020年7月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2019年7月23日～2020年7月22日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年7月23日～2020年7月22日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年7月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	千口 70,935	千口 45,548	千円 208,612

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年7月22日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	千円 208,612	% 100.0
コール・ローン等、その他	11	0.0
投資信託財産総額	208,623	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（205,756千円）の投資信託財産総額（208,632千円）に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月22日における邦貨換算レートは、1米ドル=106.89円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	208,623,927
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド(詳細)	208,612,134
未収入金	11,793
(B) 負債	1,843,515
未払解約金	11,793
未払信託報酬	1,782,709
その他未払費用	49,013
(C) 純資産総額(A-B)	206,780,412
元本	57,734,244
次期繰越損益金	149,046,168
(D) 受益権総口数	57,734,244口
1万口当たり基準価額(C/D)	35,816円

<注記事項>

元本の状況	
期首元本額	88,449,064円
期中追加設定元本額	24,718,467円
期中一部解約元本額	55,433,287円

○損益の状況 (2019年7月23日～2020年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	33,675,149
売買益	43,801,408
売買損	△ 10,126,259
(B) 信託報酬等	△ 4,088,015
(C) 当期損益金(A+B)	29,587,134
(D) 前期繰越損益金	19,527,074
(E) 追加信託差損益金	99,931,960
(配当等相当額)	(93,955,473)
(売買損益相当額)	(5,976,487)
(F) 計(C+D+E)	149,046,168
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	149,046,168
追加信託差損益金	99,931,960
(配当等相当額)	(94,009,595)
(売買損益相当額)	(5,922,365)
分配準備積立金	49,114,208

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の45相当額を支払っております。

(注) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,460,132円)、費用控除後の有価証券等損益額(28,127,002円)、信託約款に規定する収益調整金(99,931,960円)および分配準備積立金(19,527,074円)より分配対象収益は149,046,168円(10,000口当たり25,815円)ですが、当期に分配した金額はありません。

LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド

運用状況のご報告

第14期 決算日 2020年7月22日

(計算期間：2019年7月23日～2020年7月22日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド」の第14期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	主として魅力的な成長が見込めると判断する大型の米国企業を中心に投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
主 要 運 用 対 象	主として米国に所在する企業の発行する株式を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率	純資産額
	円	騰落率				
10期(2016年7月22日)	23,619	△10.3	93.1	—	—	254
11期(2017年7月24日)	29,217	23.7	96.5	—	—	258
12期(2018年7月23日)	35,913	22.9	92.8	—	1.5	159
13期(2019年7月22日)	38,425	7.0	93.0	—	1.9	272
14期(2020年7月22日)	45,800	19.2	95.4	—	2.0	208

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率
	円	騰落率			
(期首) 2019年7月22日	38,425	—	93.0	—	1.9
7月末	39,120	1.8	93.6	—	1.9
8月末	36,996	△3.7	92.8	—	1.8
9月末	37,333	△2.8	91.9	—	1.9
10月末	38,737	0.8	94.0	—	1.7
11月末	40,598	5.7	95.4	—	1.6
12月末	41,700	8.5	90.7	—	1.8
2020年1月末	42,225	9.9	94.9	—	1.7
2月末	39,010	1.5	93.6	—	1.8
3月末	35,766	△6.9	93.5	—	2.1
4月末	39,393	2.5	91.8	—	1.9
5月末	41,816	8.8	91.7	—	2.0
6月末	42,851	11.5	93.9	—	2.0
(期末) 2020年7月22日	45,800	19.2	95.4	—	2.0

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年7月23日～2020年7月22日)



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。

米国株式相場の上昇を背景に株式要因が大きくプラスに寄与しました。為替要因については、米ドル安・円高を受けてマイナスとなりました。

① 米国株式市場の動向

当期の米国株式相場は、上昇しました。

期の前半は、米中貿易摩擦の激化懸念が強まったことや、米国景気の先行き不安が広がったことなどから、上値の重い展開となる場面が見られました。その後、米中の貿易協議が進展するとの期待が広がり、投資家のリスク回避姿勢が和らぐと、株価は上昇しました。

期の半ばは、米中の貿易協議に対する進展期待を背景に、株価は堅調となりました。さらに、米中両国が貿易協議の「第1段階」で合意したことを受けて、株価は上値を伸ばす展開となりました。しかしその後は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し、経済活動の停滞が懸念されたことなどから、株価は急落しました。

期の後半は、米連邦準備制度理事会（FRB）が緊急利下げを決定したことやトランプ米政権が経済対策を発表したことなどを受けて、過度なリスク回避の動きが収まったことから、株価は反発しました。その後も主要国での経済活動再開やワクチン開発への期待感などを背景に、株価は回復基調となりました。

米国S&P500指数の推移



② 為替市場の動向

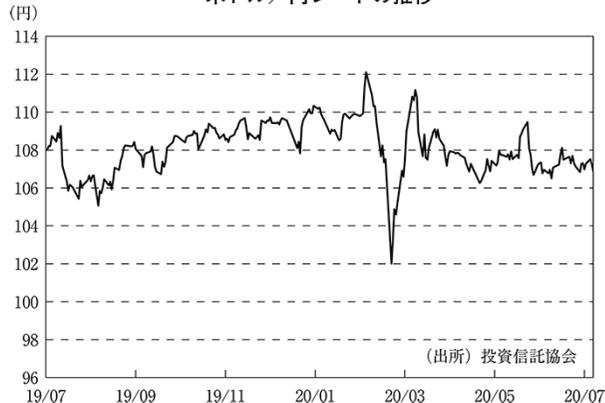
当期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。

期の前半は、FRBが利下げを決定したことや、米国国債市場で「逆イールド」が発生し、米国景気の不透明感が強まったことなどから、米ドル売り・円買いが強まりました。しかしその後は、米中の貿易協議に対する期待が高まったことや、米国景気減速への過度の警戒感が後退したことなどから、米ドルは反発しました。

期の半ばは、米中の貿易協議に対する進展期待が高まり、リスク回避姿勢が和らいだことなどから、米ドル買い・円売りが優勢となりました。その後も、米国の主要な株価指数が最高値を更新する中、米国経済の相対的な強さが意識されたことなどから、米ドルは対円で上昇基調となりました。しかし、新型コロナウイルスの急速な感染拡大を受けて株式相場が世界的に急落し、リスク回避姿勢が強まること、米ドル売り・円買いが強まりました。

期の後半は、金融市場の混乱が増す中、基軸通貨である米ドルを確保する動きが見られ、米ドルは対円で上昇しましたが、米国景気や雇用の悪化が想定以上になるとの見方が広がると下落に転じるなど、乱高下する展開となりました。その後は、方向感の定まらない展開となりました。経済活動の再開で米国景気が回復に向かっているとの見方が広がったことは、米ドル買い・円売り要因となりました。一方、FRBによる金融緩和の長期化が意識されたことは、米ドル売り・円買い要因となりました。

米ドル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主に個別企業の徹底したファンダメンタル分析に基づき、魅力的な成長が見込める米国の大型成長株を中心に銘柄数を絞り込んで投資することにより、元本の長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期の運用においては、大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、経営能力が高く、長期にわたり競争力上の優位を維持できると期待される成長企業を発掘することにより、ポートフォリオの構築を行いました。

○今後の運用方針

当ファンドは、米国企業の大型成長株を中心に投資を行うファンドです。今後も、市場環境を注視しながら、投資魅力度の高い銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年7月23日～2020年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 5 (5) (0)	% 0.012 (0.012) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	1 (1) (0)	0.002 (0.002) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	327 (326) (1)	0.825 (0.822) (0.003)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 権利処理に伴う費用（外国税額も含む）
合 計	333	0.839	
期中の平均基準価額は、39,628円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年7月23日～2020年7月22日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 59 (4)	千米ドル 749 (15)	百株 125 (-)	千米ドル 1,583 (15)

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	アメリカ	百口	千米ドル	百口	千米ドル
国	EQUINIX INC	—	—	0.42	23
	小 計	—	—	0.42	23

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○株式売買比率

(2019年7月23日～2020年7月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	252,703千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	207,515千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.22

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年7月23日～2020年7月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年7月22日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	2	1	65	6,980	情報技術
ADVANCE AUTO PARTS	2	1	27	2,914	一般消費財・サービス
AKAMAI TECHNOLOGIES	6	3	41	4,389	情報技術
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	3	2	24	2,653	ヘルスケア
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	2	1	38	4,135	一般消費財・サービス
ALPHABET INC-CL C	0.61	0.39	60	6,496	コミュニケーション・サービス
ALPHABET INC-CL A	0.24	—	—	—	コミュニケーション・サービス
AMAZON.COM INC	0.83	0.6	188	20,127	一般消費財・サービス
AMERICAN EXPRESS CO	3	2	26	2,780	金融
AMGEN INC	—	1	46	4,962	ヘルスケア
ANHEUSER-BUSCH INBEV SPN ADR	5	3	17	1,872	生活必需品
APPLE INC	2	2	91	9,829	情報技術
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	3	2	27	2,901	ヘルスケア
BLACKROCK INC	0.84	—	—	—	金融
BOOKING HOLDINGS INC	—	0.14	23	2,561	一般消費財・サービス
C. H. ROBINSON WORLDWIDE INC	1	2	18	1,985	資本財・サービス
CATERPILLAR INC	2	—	—	—	資本財・サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	0.51	—	—	—	一般消費財・サービス
COCA-COLA COMPANY	6	—	—	—	生活必需品
COMCAST CORP-CLASS A	11	8	35	3,790	コミュニケーション・サービス
COSTCO WHOLESALE CORP	1	0.9	29	3,152	生活必需品
THE WALT DISNEY CO.	4	2	30	3,283	コミュニケーション・サービス
ECOLAB INC	2	1	30	3,262	素材
FACEBOOK INC-A	6	4	112	12,041	コミュニケーション・サービス
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	—	2	32	3,448	情報技術
WW GRAINGER INC	1	0.91	30	3,281	資本財・サービス
GRUBHUB INC	3	—	—	—	一般消費財・サービス
HOME DEPOT INC	2	1	34	3,674	一般消費財・サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	2	—	—	—	資本財・サービス
JOHNSON & JOHNSON	3	—	—	—	ヘルスケア
MCCORMICK & CO-NON VTG SHRS	1	—	—	—	生活必需品
MICROSOFT CORP	8	5	106	11,402	情報技術
MONSTER BEVERAGE CORP	—	3	27	2,886	生活必需品
NUTANIX INC - A	6	5	11	1,211	情報技術
NVIDIA CORP	1	1	45	4,857	情報技術
ORACLE CORP	9	—	—	—	情報技術
PALO ALTO NETWORKS INC	1	1	30	3,224	情報技術
PIIONEER NATURAL RESOURCES CO	2	—	—	—	エネルギー
QUALCOMM INC	5	4	37	4,055	情報技術
RAYTHEON TECHNOLOGIES CORP	—	4	27	2,965	資本財・サービス
SALESFORCE.COM INC	—	2	41	4,486	情報技術
THE CHARLES SCHWAB CORPORATION	10	—	—	—	金融
SPLUNK INC	2	1	40	4,316	情報技術
TEXAS INSTRUMENTS INC	3	1	24	2,577	情報技術
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1	1	56	6,032	ヘルスケア
UBER TECHNOLOGIES INC	7	7	24	2,661	資本財・サービス
ULTA BEAUTY INC	—	1	22	2,396	一般消費財・サービス
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	3	3	41	4,402	資本財・サービス

銘柄	株数	株数	当期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千円ドル	千円		
UNITEDHEALTH GROUP INC	3	2	64	6,914	ヘルスケア	
VISA INC-CLASS A SHARES	6	4	78	8,400	情報技術	
VMWARE INC-CLASS A	1	1	26	2,851	情報技術	
ZOETIS INC	5	3	48	5,223	ヘルスケア	
LINDE PLC	2	—	—	—	素材	
IHS MARKIT LTD	6	4	32	3,512	資本財・サービス	
APTIV PLC	—	2	21	2,257	一般消費財・サービス	
ALCON INC	—	3	18	1,945	ヘルスケア	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	176	113	1,862	199,107	
		47	43	—	<95.4%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

(注) —は組入れなし。

外国投資信託証券

銘柄	口数	口数	当期末		比率	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百口	百口	千円ドル	千円	%	
EQUINIX INC	0.96	0.54	39	4,190	2.0	
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	0.96	0.54	39	4,190	
		1	1	—	<2.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、口数が単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2020年7月22日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 199,107	% 95.4
投資証券	4,190	2.0
コール・ローン等、その他	5,334	2.6
投資信託財産総額	208,632	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(205,756千円)の投資信託財産総額(208,632千円)に対する比率は98.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月22日における邦貨換算レートは、1米ドル=106.89円です。

○特定資産の価格等の調査

(2019年7月23日～2020年7月22日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	218,244,520
コール・ローン等	5,296,895
株式(評価額)	199,107,973
投資証券(評価額)	4,190,400
未収入金	9,612,505
未収配当金	36,747
(B) 負債	9,631,000
未払金	9,619,200
未払解約金	11,793
未払利息	7
(C) 純資産総額(A-B)	208,613,520
元本	45,548,501
次期繰越損益金	163,065,019
(D) 受益権総口数	45,548,501口
1万口当たり基準価額(C/D)	45,800円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	70,935,550円
期中追加設定元本額	19,483,653円
期中一部解約元本額	44,870,702円

(注) 期末における元本の内訳

LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ファンド	45,548,501円
--------------------------	-------------

○損益の状況 (2019年7月23日～2020年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,004,361
受取配当金	1,750,882
受取利息	71,826
その他収益金	184,419
支払利息	△ 2,766
(B) 有価証券売買損益	38,082,398
売買益	53,634,254
売買損	△ 15,551,856
(C) 保管費用等	△ 1,820,062
(D) 当期損益金(A+B+C)	38,266,697
(E) 前期繰越損益金	201,630,930
(F) 追加信託差損益金	56,853,357
(G) 解約差損益金	△133,685,965
(H) 計(D+E+F+G)	163,065,019
次期繰越損益金(H)	163,065,019

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。